

H30.8.8（火）13:00

平成30年度第2回政策討論会（第2分科会）

出席者：全員

【議題】 討論テーマの確認

座長…テーマが広いので、討論する中身を絞りたいと考えるがいかがか。

議員…本市の職員の超過勤務の削減について議論する事が良いのではないか。人事課職員を招き、現状を知ったうえで議論したい。

議員…同じく、職員の超過勤務について議論する事が望ましいのではないか。現状では病院、競輪場、水道等業務的にも多いと聞いているが、その理由等を確認する事も大事と考える。

議員…予算編成において、職員の超過勤務も予測を行い、人件費として予算立てするが、決算時は、予算された額を超えている。それらから、残業への取り組みの考え方等々を検証する事も必要と考える。

議員…会議や報告事項の多さなど、職員の残業の原因となる要因に対する考え方を見直す必要があるのではないか。現在の働き方改革が進められているのは、働いている人が病気になったり、自殺に追い込まれたりすることが無いようにするための改革である。残業時間が100時間や80時間を超える職場は、効率が悪いか無駄な仕事が多いと考えてしまう。無駄な仕事の一つとして、『報告』『連絡』『相談』を徹底するあまりに、会議を頻繁且つ長時間開催していることが危惧される。

議員…一定の時刻を超えると就業中であっても、パソコンの電源を切るといった取り組みを民間では行われていて、超過勤務の抑制に繋がっていると聞く。

議員…議員の発言にある取り組みを既に寝屋川市が行っている。資料があるので、配布する。寝屋川市の報告によると、1ヶ月80時間の長時間労働を行った職員は前年同月比で84%減少。そのうち、100時間以上の職員は100%減少したとの事である。また、本市でも取り組む様である。

座長…皆様の話を総合すると、本市における職員の超過勤務について、公務労働の視点も含め、まずは理事者に現状を聞いてみる事から始めたいと考えるが、いかがか。

議員…できれば、合わせて現状と今後の取り組みについても説明を求めたい。

座長…次回は、それらを含め、理事者から説明を求める事に決定する。他にあれば。

議員…職員が残業しているにも関わらず、空調が切られると聞いているが…。また、今後はAIの導入なども視野にあるのか確認したい。

議員…超過勤務についてのみ論じるのか、働き方全体について論じるのか。

議員…ただ単に残業を削減するとの視点ではなく、そこへ向けた取り組みや方策を見出せる議論にできればと考える。

座長…では、次回9月21日（金）10:00から、理事者を招いて開催する。

以上、次回の議論するテーマを確認し、第2回政策討論会を終えた。